

## 母親がもつ育児上の心配事とその対応

### 4か月時点と10か月時点との比較

加藤まち子,\* 鈴木さち子\*  
松浦 賢長,\*\* 平山 宗宏\*\*

要約：昨年度の調査の同対象者に対して乳児が10か月時点における育児上の心配事と相談相手について調査し、4か月時点と比較検討した。その結果、乳児の成長とともに心配事が変化し、増加していた。また、心配事が継続していたものは約14%あり、引き続きfollowが必要だと思われた。

見出し語：心配事、相談相手

#### はじめに

昨年度われわれは4か月児を持つ母親300例を対象に育児上の心配事およびその相談相手に関する調査をおこない、必要と思われるものについては保健婦等によるfollowをおこなった。今年度は児が10か月となった時点で再び同じ母親300例に対して同様の調査をおこない、10か月時点の心配事および相談相手を把握するとともに、4か月時点の心配事の解消について検討した。

#### 対象と方法

千葉県松戸市に住む1986年3月生まれの児を持つ母親300名を抽出し、同年7月（4か月児時点）と1987年1月（10か月児時点）に質問紙を郵送した。4か月の回答者は215名であり、10か月の回答者203名（継続回答者163名）であった。10か月に質問した心配事の項目等を表1に示した。また、4か月調査前後の保健婦等によるFOLLOW形態（電話相談、育児教室、訪問等）とその結果を個別に調査し、心配事の解消について検討した。

---

\*松戸市役所健康管理課

\*\*東京大学医学部母子保健学教室

## 結果

(1)心配事の変化：4か月時点及び10か月時点の育児上の心配事に関する質問項目は、(表1)に示す通りである。4か月時点の質問は5項目、10か月時点は7項目、そのうち両時点で共通の質問は4項目(いずれもその他を除く)である。重複4項目についてみると、10か月時点ではなんらかの育児上の心配事を持っている母親は65%であり、4か月時点の48%にくらべ有意に増加していた(図1)。

2)10か月の各心配事と相談相手：10か月時点の心配事の内容は4か月時点同様皮膚に関する事が多く、夜泣き、遊ばせ方等の育児方法についての心配事がついでおり、授乳量や便回数の心配が多い4か月時点にくらべ個性が現れてきた乳児への戸惑いがうかがわれた(図2)。各心配事に関する相談相手は、皮膚に関する心配事は多くが医師に相談し、育児に

関する心配事は身内に相談するあるいは誰にも相談しないと答えたものが多かった。

(3)FOLLOW形態と心配事解消の関連：4か月時点に心配事を持っていた母親に対して保健婦等により必要なfollowをおこない、10か月時点での心配事の内容を検討することにより心配事解消とfollow形態との関連をみた。4か月時点の心配事に対するfollow形態は、心配事の内容および程度に準じて保健婦が決定した。心配事解消とfollow形態の間には、心配事の内容と程度の違いもあり今回の調査では有意な差はみられなかった(図3)。心配事が4か月時点から10か月時点まで継続していたと思われるものは13名(14%)であり、その内容は、アトピー性皮膚炎等皮膚に関するものが3名、夜の授乳2名、便1名、その他であった。

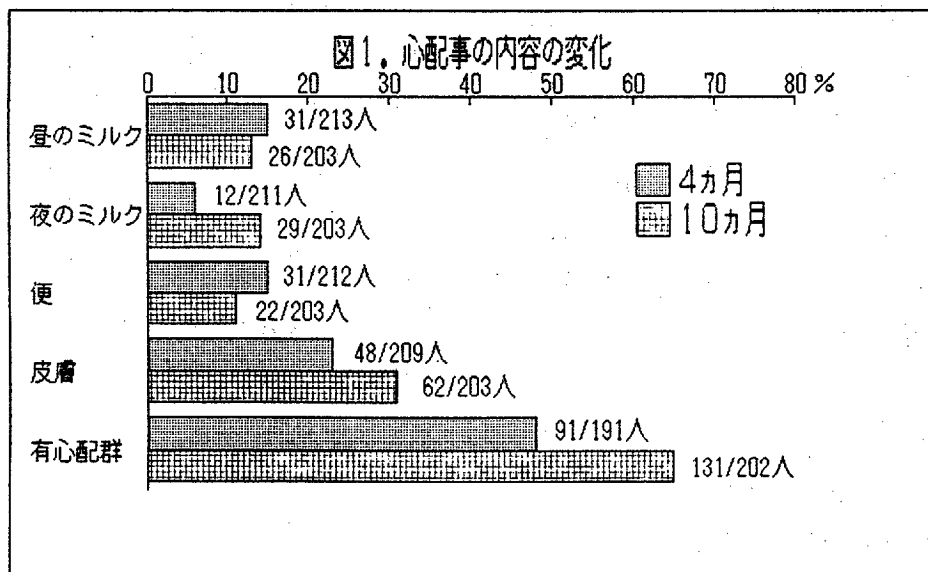
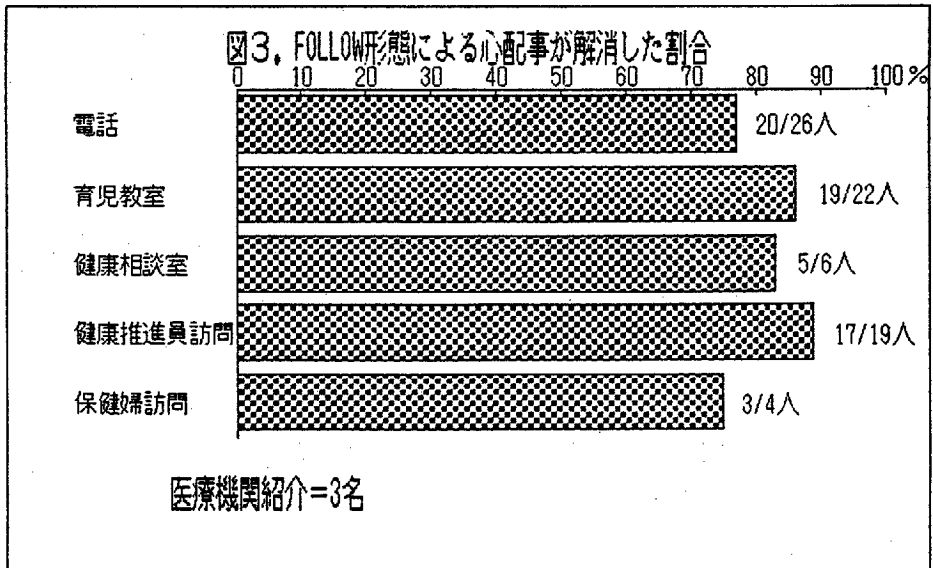
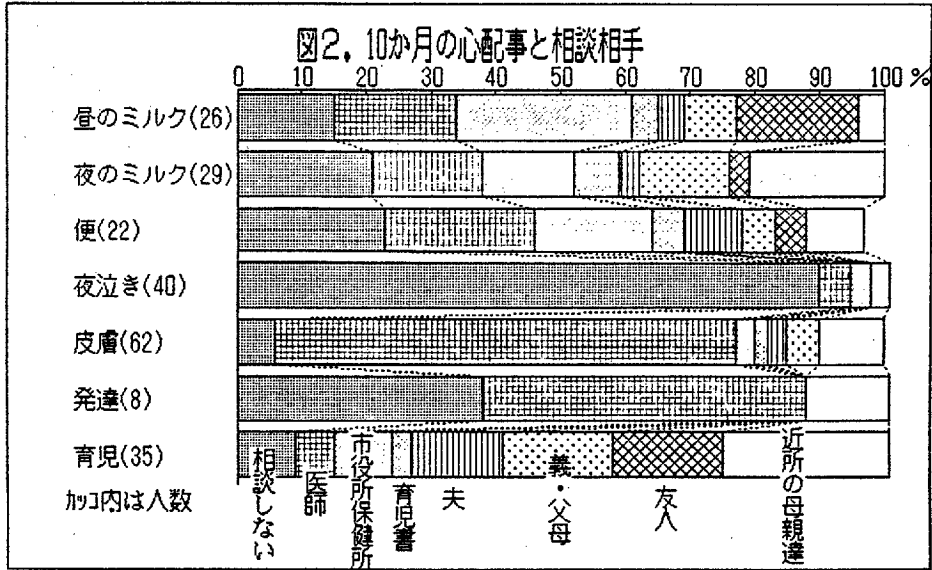


表1. 心配事に関する質問項目

4ヶ月児調査	10ヶ月児調査
昼のミルク	昼のミルク
夜のミルク	夜のミルク
ミルクその他	
離乳	
便	便
皮膚	皮膚
	夜泣き
	発達
	育児
その他	その他





## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:昨年度の調査の同対象者に対して乳児が10か月時点における育児上の心配事と相談相手について調査し、4か月時点と比較検討した。その結果、乳児の成長とともに心配事が変化し、増加していた。また、心配事が継続していたものは約14%継続し、引き続きfollowが必要だと思われた。